治験審査委員会

| 開催日時 | 平成 23年 11月 21日(月) 17:15 ~ 18:55 |
|------|--|
| 開催場所 | 第3-1会議室 |
| 出席委員 | 出席者: 井上勝美、田中明、相部仁、有田武史、大渕美帆子、竹内良夫 里田佳代子、増田和久、林田加代、片江香津美、井芹信彦 欠席者: 金井英俊 |

| 議題 | 依頼者名 | Cook Japan株式会社 |
|------|---------------|---|
| | 成分記号 (治験コード名) | Cook Japan-01 |
| | 開発の相 | П |
| | 対象疾患 | |
| 審議内容 | | ・治験実施計画書別紙1及び2の変更について報告した。 ・当院の重篤な有害事象について報告があり、治験の継続の妥当性について 審議した。 |
| 審議結果 | | 継続承認 |

| 議題 | 依頼者名 | グラクソ・スミスクライン株式会社 |
|----|---------------|--|
| | 成分記号 (治験コード名) | グラクソ・スミスクライン-02 |
| | 開発の相 | ${ m III}$ |
| | 対象疾患 | 慢性冠動脈性心疾患 |
| 3 | 審議内容 | ・治験実施体制、治験実施医療機関及び治験責任医師一覧の変更について 審議した。・依頼者より提出された安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの 妥当性について審議した。 |
| 2 | 審議結果 | 継続承認 |

| 議題 | 依頼者名 | ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社 |
|-----------|---------------|--|
| | 成分記号 (治験コード名) | ホ [、] ストン・サイエンティフィックシ ャハ°ン−01 |
| F-5,2,7 C | 開発の相 | Ш |
| | 対象疾患 | 新規冠動脈疾患 |
| 審議内容 | | ・中間報告がなされた。 ・日本における治験実施体制の変更について報告した。 |
| 審議結果 | | 継続承認 |

| 議題 | 依頼者名 | ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社 |
|------|---------------|---|
| | 成分記号 (治験コード名) | ホ [、] ストン・サイエンティフィックシ [、] ャハ°ン−02 |
| | 開発の相 | Ш |
| | 対象疾患 | 新規小口径冠動脈病変 |
| 2 | 審議内容 | ・中間報告がなされた。 ・治験実施計画書別紙の変更について審議した。 |
| 審議結果 | | 継続承認 |

| 議題 | 依頼者名 | 第一三共株式会社 |
|------|---------------|---|
| | 成分記号 (治験コード名) | 第一三共-02 |
| | 開発の相 | ${ m I\hspace{1em}I}$ |
| | 対象疾患 | 静脈血栓塞栓症 |
| 審議内容 | | ・依頼者より提出された安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの 妥当性について審議した。 |
| 審議結果 | | 継続承認 |

| | 依頼者名 | テルモ株式会社 |
|------|---------------|---|
| | 成分記号 (治験コード名) | テルモー03 |
| 議題 | 開発の相 | ${ m III}$ |
| | 対象疾患 | 浅大腿動脈から膝窩動脈に形成された狭窄もしくは閉塞した新規病変による 下肢閉塞性動脈疾患 |
| 2 | 審議内容 | ・当院の重篤な有害事象について報告があり、治験の継続の妥当性について 審議した。 |
| 審議結果 | | 継続承認 |

| 議題 | 依頼者名 | 株式会社日本ステントテクノロジー |
|------|---------------|--|
| | 成分記号 (治験コード名) | 日本ステントテクノロジー-01 |
| | 開発の相 | Ш |
| | 対象疾患 | 虚血性心疾患 |
| | 審議内容 | ・治験分担医師の職名変更について審議した。 ・当院の重篤な有害事象について報告があり、治験の継続の妥当性について 審議した。 |
| 審議結果 | | 継続承認 |

| 議題 | 依頼者名 | 協和発酵キリン株式会社 |
|------|---------------|--|
| | 成分記号 (治験コード名) | 協和発酵キリン-01 |
| | 開発の相 | П |
| | 対象疾患 | |
| 審議内容 | | ・治験実施計画書 別冊の変更について報告した。 ・依頼者より提出された安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの 妥当性について審議した。 |
| 審議結果 | | 継続承認 |

| 議題 | 依頼者名 | 武田薬品工業株式会社 |
|------|---------------|---|
| | 成分記号 (治験コード名) | 武田薬品工業-10 |
| | 開発の相 | Π |
| | 対象疾患 | 急性冠症候群における2型糖尿病患者 |
| 審議内容 | | Blank Casebook report for Study TK322402, Casebook TK322402の変更について審議した。 当院の重篤な有害事象について報告があり、治験の継続の妥当性について審議した。 依頼者より提出された安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 |
| 審議結果 | | 継続承認 |

| 議題 | 依頼者名 | 第一三共株式会社 |
|------|---------------|--|
| | 成分記号 (治験コード名) | 第一三共-03 |
| | 開発の相 | |
| | 対象疾患 | 急性冠症候群患者 |
| 審議内容 | | ・中間報告がなされた。 ・治験実施計画書 別紙1、治験実施計画書 別紙2、治験実施計画書 別紙3の変更について報告した。 ・当院の重篤な有害事象について報告があり、治験の継続の妥当性について審議した。 ・依頼者より提出された安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 |
| 審議結果 | | 継続承認 |

| 議題 | 依頼者名 | バイエル薬品株式会社 |
|------|---------------|---|
| | 成分記号 (治験コード名) | バイエル薬品-02 |
| | 開発の相 | ${ m III}$ |
| | 対象疾患 | 慢性血栓塞栓性肺高血圧症 |
| | 審議内容 | ・依頼者より提出された安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの 妥当性について審議した。 |
| 審議結果 | | 継続承認 |

| 議題 | 依頼者名 | 日本たばこ産業株式会社 |
|------|---------------|--|
| | 成分記号 (治験コード名) | 日本たばこ産業-01 |
| | 開発の相 | Ш |
| | 対象疾患 | 高リン血症を呈する腹膜透析施行中の慢性腎臓病患者 |
| 審議内容 | | ・当院の重篤な有害事象について報告があり、治験の継続の妥当性について 審議した。 |
| 審議結果 | | 継続承認 |

| 議題 | 依頼者名 | バイエル薬品株式会社 |
|------|---------------|--|
| | 成分記号 (治験コード名) | バイエル薬品-03 |
| | 開発の相 | Ш |
| | 対象疾患 | 高リン血症を呈する保存期の慢性腎臓病患者 |
| 審議内容 | | ・治験実施計画書、治験実施計画書 別紙1の変更について審議した。・依頼者より提出された安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。・終了報告がなされた。 |
| 審議結果 | | 承認 |

| 議題 | 依頼者名 | バイエル薬品株式会社 |
|------|---------------|---|
| | 成分記号 (治験コード名) | バイエル薬品-04 |
| | 開発の相 | Ш |
| | 対象疾患 | 高リン血症を呈する保存期の慢性腎臓病患者 |
| 審議内容 | | ・治験実施計画書、治験実施計画書 別紙1の変更について審議した。 ・依頼者より提出された安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの 妥当性について審議した。 |
| 審議結果 | | 継続承認 |

| 議題 | 依頼者名 | ノバルティス ファーマ株式会社 |
|------|---------------|---|
| | 成分記号 (治験コード名) | ノバルティス ファーマ-01 |
| | 開発の相 | ${ m III}$ |
| | 対象疾患 | hsCRP高値を示す心筋梗塞後の安定した患者 |
| 審議内容 | | ・治験実施計画書、治験実施計画書 添付資料、症例報告書の見本、同意説明文書及び同意書、治験参加カード、目標症例数増加に伴う治験期間延長及び被験薬1群追加に伴う費用追加等変更について審議した。 ・治験実施計画書 添付資料の変更について報告した。 ・依頼者より提出された安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 |
| 審議結果 | | 継続承認 |

| 議題 | 依頼者名 | 第一三共株式会社 |
|------|---------------|---|
| | 成分記号 (治験コード名) | 第一三共-04 |
| | 開発の相 | Ш |
| | 対象疾患 | 待機的冠動脈内ステント治療を要する冠動脈疾患患者 |
| 審議内容 | | ・依頼者より提出された安全性情報に基づき、引き続き治験を実施することの 妥当性について審議した。 |
| 審議結果 | | 継続承認 |